

平成 21 年 3 月 31 日現在

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2006～2009

課題番号：18203001

研究課題名（和文） 藩法史料のデータベース展開と近世法史研究の新機軸

研究課題名（英文） Development of database of historical documents in clans and new study of legal history in Japanese pre modern

研究代表者

林 紀昭（HAYASHI NORIAKI）

関西学院大学・法学部・教授

研究者番号 40024971

研究分野：法学

科研費の分科・細目：法学・基礎法学

キーワード：自分仕置、藩法・御定書系刑法典、明清律系法典、大名支配、他領追放刑、刑事判例集、幕藩法

## 1. 研究計画の概要

本研究は、平成11年度～平成14年度の期間、科学研究費補助金（基盤研究（A）（1））「データベースの構築に向けた藩法史料の総合的研究」（課題番号11302001）の成果を承けて、全国的に藩法史料の所在状況の調査を続行し、採集した主要な藩法史料について全文検索機能を付加した解読史料の画像化の方策を目指し、検索機能を利用して日本近世藩法の比較研究の展開を図るだけでなく、近代法研究にも大陸法継受の基盤づくりの視覚から提起を行うことを目的としている。前回は大小260に及ぶ藩のうち、31藩の原史料と地方史刊行物の現況を報告するとともに、盛岡・熊本・対馬・宇和島・山口各藩のデジタルデータを入手し、藩法研究会（中部）ホームページにアップロードしたが、残された藩について参加者全員の努力により史料所在の状況把握を終えるよう取り組み、研究会を通じて重要史料と判断された史料のデジタルデータ取得を続行するとともに、前回の取り組みでは盛岡藩を除き実現できなかった採集史料の解読作業を強化し出版化を図りつつ、近世藩法の比較研究の深化を目指す。

## 2. 研究の進捗状況

（1）現在まで福岡藩・佐賀藩・徳島藩、鳥取藩、久留米藩、秋田藩、鶴岡藩の史料調査を行い、各藩の刑事裁判史料を収集した。収集した史料は、名城大学内の藩法研究会ホームページにアップロードし、研究会の構成員の間で情報を共有する体制を取っている。な

お、史料画像の公開について所蔵機関の許諾が得られるまでの間、ホームページをパスワード保護している。

（2）取得した史料のうち、対馬藩『罰責』、舞鶴藩『刑罪筋日記抜書』については、翻刻作業を終え、史料集の刊行に向けて校訂作業を進めている。

## 3. 現在までの達成度

## ②概ね順調に進展している

（理由）

（1）日本全国の藩刑事裁判史料の所在状況の把握作業は、極小藩を除き概ね完了したと考えられる。存在が確認できた史料のデジタル画像取得作業も進み、本研究費補助事業に参加する研究者の間での画像共有も実行している。ただし、存在を知られているものの、未だ現物確認ができていない史料も散見され、また調査の結果、知られていない刑事裁判史料が発見されることも多い。

（2）他方、取得した史料を翻刻し、デジタル検索可能な形で刊行するという事業は、その対象とした史料が大部であったため、現時点で実現途上と言ったところである。しかし、いずれも翻刻作業は山を越え、原史料を見ながら最終的な校訂を行う作業が進行中である。最終年度中の刊行助成申請に向けて準備している。

## 4. 今後の研究の推進方策

前述の通り、丹後田辺藩および対馬藩の刑事裁判史料について、また、参加している研究者の藩法研究の成果をまとめて公にする

ことを目的に、2冊目の論文集刊行を企画しているところである。

5. 代表的な研究成果  
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 11 件)

① 谷口昭「寛文期における地域社会と幕府評定所」『三重県史研究』第 23 巻 1～24 頁、2008 年、査読無

② 高塩博「奥殿藩佐久領における「敲」の刑罰」『國學院法学』46-1、63～84 頁、2008 年、査読無

③ 守屋浩光「盛岡藩における内済 —盛岡藩刑事判例集を題材として—」『東北学院大学東北文化研究所紀要』第 39 号、82～90 頁、2007 年、査読無

④ 井ヶ田良治「近世譜代大名領の裁許記録と進達書類の作成 —丹後田辺牧野家領の公事出入を例として—」『同志社法学』58-1、2006 年、査読無

[学会発表] (計 1 件)

① 藤原明久「江戸前期支配違金銀出入と大坂分散法」(法制史学会近畿部会第 395 回例会、大阪大学、2007 年 6 月 16 日)

[図書] (計 9 件)

① 谷口昭「武家官僚制の一視角—越智松平家の転封を素材として—」(『公家と武家IV 官僚制と封建制の比較文明的考察』206～228 頁、思文閣出版、2008 年)

② 林紀昭、井ヶ田良治、守屋浩光、谷口昭、神保文夫、林由紀子『大名権力の法と裁判』、412 頁、創文社、2007 年

③ 坂本忠久『近世都市社会の「訴訟」と行政』、290 ページ、創文社、2007 年

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)  
特になし

○取得状況 (計 0 件)  
特になし

[その他]